

児島湖ヨシの刈取り・リサイクル事業

1. 事業の概要

ヨシ群落は、児島湖の鳥類・魚類の繁殖の場として重要な役割を担っており、このヨシ群落を良好な状態に保つためには、冬季に枯れた茎を刈り取って株の再生を促すことが必要です。また、湖水に含まれる窒素やリンを吸収して成長したヨシを冬季に刈り取り、湖外へ持ち出すことが児島湖の水質保全に役立ちます。

そこで、ヨシの刈取り及びごみの清掃を行うとともに、刈り取ったヨシを廃棄物として処分するのではなく、リサイクルし、有効に活用しました。また、県内の児童・生徒が刈取りやリサイクルの一部を体験する機会を設けました。

2. 平成 27 年度実績

(1) ヨシの刈取り及びごみの回収

平成 27 年度は、総面積 31,890m²、総重量 34,200kg のヨシを刈り取りました。また、ヨシの刈取りとともにごみの回収作業を行い、ビン類や缶類などの不燃物約 270kg を回収し、民間処理施設で処理しました。

《ヨシの刈取り（岡山市南区北七区）》



《不燃ゴミの回収》



(2) ヨシを活用したリサイクル品

刈り取ったヨシを「バイオマス資源」としてリサイクルすることで、廃棄物を使用した製品開発や再生資材の利用を促進し、広くその利活用方途の普及を図りました。

その再生利用の一環として、マルチング材（土表面に敷き詰め土の乾燥や雑草の繁殖を防ぐ資材）や堆肥として利用しました。また、刈り取ったヨシを材料に児島湖の環境保全を啓発するための回覧板を作成し、児島湖周辺の町内会に配付しました。その内訳は以下のとおりです。

【利用方法】

マルチング材	27,600kg
千両ナス栽培（堆肥等）	5,600kg
回覧板作製用紙	1,000kg
計	34,200kg

《マルチング材として利用
白桃農園》



《ヨシを配合した紙で作成した
回覧板》



(3) ヨシの刈取り体験・工作体験

児島湖に親しんでもらうとともに、環境保全意識の啓発を図るために、高校生を対象にヨシの刈取り体験を実施し、小学生を対象にヨシを利用した工作体験を実施しました。

ア ヨシ刈り体験

岡山県立津山工業高等学校工業化学科の1年生40名が、ヨシの刈取りを体験しました。

《ヨシ刈り体験を行う津山工業高校の
皆さん》



《回収したゴミ》



イ 工作体験

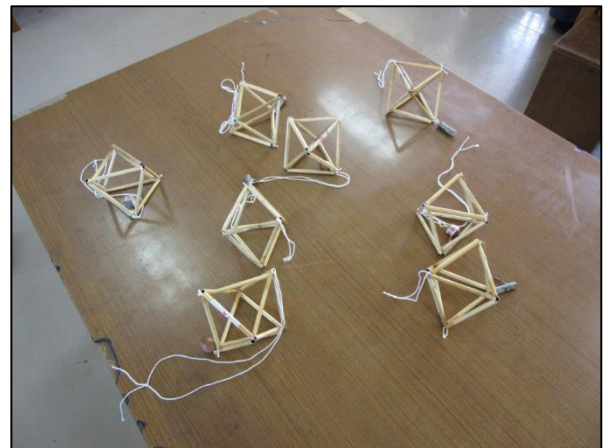
刈り取ったヨシを利用して、ヨシ笛や額縁、ヒンメリ（フィンランドの伝統的な装飾品）などの工作に取り組んでももらいました。玉野市立八浜小学校では4年生 24名、真庭市立川東小学校では4年生 23名、岡山市立七区小学校では3年生 24名、玉野市立大崎小学校では3年生 20名がヨシの工作体験に参加しました。

《ヨシの工作を行う

八浜小学校の皆さん》



《ヨシを使ったヒンメリ》



担当部署

環境文化部 環境管理課 水環境湖沼保全班